

第9回 那須塩原市庁舎建設市民検討懇談会 会議録(要旨)

開催日時：平成27年11月27日（金） 午後3時30分から午後5時00分

開催場所：那須塩原市 本庁舎3階303会議室

出席委員：13名

欠席委員：3名

事務局：企画部企画政策課 4名

傍聴者：報道機関 2社

- 1 開会（午後3時30分）
- 2 あいさつ（三橋会長）
- 3 報告事項（進行：三橋会長）

会長： それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。本日は、報告事項が2件、検討事項が1件でございますが、ひとつずつ進めてまいりたいと思います。それでは、「(1) 支所機能及び各庁舎の跡地利用」につきまして、事務局より説明をお願いしたいと思います。

事務局： （「資料1」に基づき説明）支所機能及び各庁舎の跡地利用につきましては、「資料1」のとおり、今後の整備方針をまとめたところです。この考えに基づき、新庁舎建設基本計画をまとめていきたいと考えております。

会長： ただいま、事務局より説明がありました。報告事項ではありますが、委員の皆様から、ご意見などございましたら、お願いしたいと思います。

委員： 行政の窓口カウンターなどは、それぞれの庁舎でも、懇談会等で検討してきた新庁舎のイメージを参考に、相談者のプライバシーが守られる仕組みを予算の許す範囲で整備した方がよいと思う。

事務局： ご意見としてお伺いします。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 本庁舎の跡地利用として黒磯消防署を移転するとのことだが、この庁舎をどのように黒磯消防署として利用するのか。この庁舎に何か手を加えて利用するのか。建て替えることはないと思うが、今のままで使うことになると、大丈夫なのかとってしまうため、考え方を確認したい。

会長： 市庁舎と消防庁舎の関係というご質問ですが、この点について、事務局、いかがでしょうか。

事務局： この庁舎は、市役所の庁舎として建築されておりますので、黒磯消防署として利用する場合には、手を加えなければならない部分が出てくるとは思います。その部分につきましては、消防組合と内容を詰めていくようになると思います。また、消防署として使うためには、消防自動車用の車庫を改めて作る必要があると聞いております。

委員： もう一点、本庁舎の余剰スペースに災害備蓄品や行政文書を保管するとのことだが、新庁舎建設後においても、災害備蓄品や行政文書をすべてここに保管するということでよいか。

事務局： 新庁舎内にも、文書を保管するスペースや災害備蓄品を保管するスペースを考えておりますが、それらすべてを新庁舎の中に求めることになると、延床面積がどんどん大きくなっていってしまいます。そのため、閲覧頻度が低い文書をこの庁舎を消防署として使用した上で、余っているスペースを活用し、保管する考えです。なお、消防署には、消防署の署員が常におりますので、セキュリティの機能が高くなると期待をしています。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 西那須野庁舎に図書館ができるということだが、図書館に移設するに当たっては、市でこういう形にすると決定するのか、話し合いの場があつてこういう形にしたいと改造するのか。

事務局： 図書館にすることについては、本市の政策として、方向性を示させていただいておりますが、今後については、生涯学習課で詳細を決めていくこととなります。

会長： これについては、パブリックコメントのように市民の方々の意見をいづれ聞く機会はあるのでしょうか。

委員(市)： 市民の声をお聞きして、進めていかなければならないと思っております。

委員： 今の図書館は使いづらい点がかなりある。今後は、支所の中に図書館を作るといことで、これまで以上にいろいろな人が訪れると思う。そのため、いろんな市民の意見を聞いていただければありがたいと思い発言をした。

会長： その他、いかがでしょうか。

会長： 意見がないようでしたら、続きまして、「(2) 新庁舎建設に伴う外部関連機関(機能)」について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局： (「資料2」に基づき説明) 外部関連機関等と協議を進めながら、いろいろな機能の集約を図り、市民の利便性の向上に努めたいと考えております。

会長： こちらも報告事項となりますが、お気づきの点があれば、お願いしたいと思います。

委員： これまでには、カフェなども想定していたと思うが、飲食店のスペースを設けてはどうか。

事務局： 前回の懇談会の中で、行政棟には、レストランを配置しない方向性を示しましたが、これに伴い、市民交流スペースにカフェなどを設けることを想定しております。

委員： その場合、独立採算ということになると思うが、市役所に入居している飲食店が採算割れし、撤退をする事例を良く聞く。そういうことは避けなければならないと思うため、入居する際の話し合いは、十分に行った方が良いと思う。

事務局： ご意見を踏まえ、協議していきたいと思えます。

会長： 那須塩原市ではありませんが、経費節減の一環として、窓口業務を委託した自治体があると聞いています。このあたりは、検討されているのでしょうか。

事務局： コンシェルジュなどを活用している例としましては、皆様と視察をいたしました青梅市や立川市がありますが、この件につきましては、窓口サービスの向上ということで、総務部門で検討を進めてきた経過があります。現段階では、具体的などころまでは決まっておりますが、今後、検討が進んでいくこととなります。

会長： 導入の可能性がないわけではないということでしょうか。

委員： そうした専門の人を配置した方が良いと思う。職員は、人事異動があるため、交代で対応することになる。是非とも、簡単な窓口に関しては、委託を考えていただきたい。

委員： 職員側にも、メリットがあると思う。

事務局： 住民サービスが向上し、コストを抑えることができれば、とても良いことです。ので、十分に検討したいと思います。

会長： その他、いかがでしょうか。

会長： 意見がないようでしたら、「4 検討事項」に入りたいと思います。「(1) 新庁舎における配置計画の考え方」について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

4 検討事項（進行：三橋会長）

事務局： （「資料3」に基づき説明）本日の検討事項としては、建物を低階層にすることについてのご意見及びこれに伴い職員駐車場を敷地内ではなく、敷地外に求めることなどについて、ご意見をいただければと思います。

会長： 事務局より、低階層の建物を検討しているということ、また、窓口のレイアウトについては、隣接配置型を検討していることについての提案がありました。関連しまして、駐車場の台数については、建築面積が増えれば、駐車場の面積が減ってくるという観点でご質問及びご意見がいただければと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

委員： 駐車場の件だが、新庁舎は駅に近くなるため、市役所に関係のない人が車を止めたりする可能性があると思う。そのため、本当に駐車場が必要な人のための駐車台数が確保できない可能性がある。市役所に用事があって来庁した方は無料としても、ゲートの設置なども含め、有料化をすることを検討する必要があると思う。限られた駐車スペースで、本当に必要な人のための駐車スペースを考えていただきたい。

事務局： 駐車場につきましては、庁内における検討の中でも、駅を利用する方が新庁舎の駐車場に車を止め、電車などを利用してしまおうのではないかという趣旨の意見もあ

りました。これに対しては、ゲートを設置するなどの運用方法を考えていかなければと
思っており、詳細につきましては、今後、検討していきたいと考えております。

会長： 県庁や宇都宮市の例ですと、市役所の窓口で駐車券に証明をもらい、一定時間
は、無料といった対応もしておりますが、何らかの対応が必要になるかと思えます。

委員： 西那須野庁舎は、駅に近いため以前はオープンで利用をしていたが、車を置いて
行かれてしまうことがあり、現在は、チェーンをかけるなどの対応をしている。駐車
場については、防犯の観点からも考えるべきである。

会長： 低階層にすることについては、いかがでしょうか。建築コストを抑えられるこ
とに加え、必要な窓口機能の面積が確保できるということです。建築面積を確保する
ことができない場合には、必要な窓口を上の方の階に移すようになるため、低階層にする
ことで、そういったものがすべて1階に設けることが可能となるということです。駐
車場が狭くなる分との見あいになるということです。

委員： 低階層にした時には、屋上を駐車場にすることも考えられるのではないかと。

会長： 車が屋上に乗ることで、建物の構造を少し頑丈にしなければならと思えますが、
柱とか梁などが過重にたえられるようにするため、それだけコストがかかってきますの
で、総合的に判断する必要があると思えます。

事務局： 屋上駐車場については、建築コストとのバランスを考えた検討となってく
ると思えますが、来庁者のための駐車場については、敷地内で確保できるとしていま
す。

会長： 低階層にした場合にも、来庁者の駐車場が減ることではないということ
でよろしいでしょうか。

事務局： そのような考えです。なお、職員については公共交通機関の利用も考えるこ
とも必要かと思っています。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 低階層を考えた理由は何か。

事務局： これにつきましては、延床面積を19,000㎡とした時に、1階部分に窓
口関連の業務のある部署を集約することで、その上に積み上がってくる床面積が変わっ

てきますが、相対的な19,000㎡は変えないというシミュレーションをしているところですが、

委員： 今回の提案は、延床面積は変わらないが、1階部分が大きくなっていくということで、おおむね30,000㎡の敷地の中で駐車場の部分が減っていくということか。毎回発言しているが、現段階では、原則として、地下に駐車場は作らないということか。

事務局： 地質調査については前回の懇談会のあと、ボーリング調査の実施を予定している地点の地権者に了解をとるところです。現在は、設計書の作成や入札の準備を行っております。まだ、結果が出ていないところではありますが、現時点では、地下フロアについては設けないことを想定しております。

会長： 正確な数値を出すことは難しいと思いますが、掘削をして地下1階部分のフロアを設ける場合には、工期もかかるし、コストもかかるため、コストに見合う地下の有効利用ができるのかとの見あいということだと思います。事務局としては、今後、総合的に判断することになるため、検討しないわけではないが、今の時点では作らない方向でいるということかだと思います。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 窓口の配置パターンについては、1箇所に座っているいろいろな行政サービスを受けた方が親切かと思うが、いかがなものか。

事務局： 資料では、隣接配置型に丸を付けておりますが、証明書の発行などは、なるべく1箇所に集約することを考えています。また、関連が深い部署を隣り合わせにして配置することで、座ったお客様を立て隣へといった対応でなく、職員が動いてお客様の方に行くことを複合的に考えるようだと思っております。そのために、現在は、背の高いカウンターがほとんどですが、新庁舎では、背の低いローカウンターを考えております。

会長： それぞれ、いいところ、悪いところがあります。

事務局： 那須塩原市として、住民サービスや利便性が向上するように改善していきたい考えでおります。

会長： その他、いかがでしょうか。

事務局： 先ほど、延床面積が19,000㎡という話がありましたが、事務局としては、19,000㎡を上限の面積として考えております。現在は、オフィス環境調査を実施し、その中で必要なオフィスの面積の算出を進めておりますが、19,000㎡までなくとも使いやすいオフィスが作れるのではないかとの方向性で進んでおります。

会長： この点につきましては、基本計画に反映できるのでしょうか。

事務局： 現段階としましては、基本構想でお示しした19,000㎡が最大ですが、それよりも小さくなる可能性があるということです。

会長： 県内他自治体の事例でも、基本構想から規模を圧縮することは、コスト縮減の面から対応することがあります。

会長： 「資料3」2ページの円グラフは、現在の本庁舎に来庁された方のグラフでしょうか。

事務局： 調査は、昨年実施したものとなりますが、本庁舎と西那須野支所、塩原支所などを対象に実施しております。そのため、資料につきましては、本庁舎の部分を抜粋して表示しております。建物の構造もそれぞれが異なりますので、右側は本庁舎、左側は全体として御覧いただければと思います。

会長： 低階層にして1階部分が広がってくると、窓口全体がわかりやすくなると思いますが、見渡す限りフロアではいけないため、サイン計画が重要になってくると思います。また、場合によっては、総合案内やコンシェルジュも必要になってくると思います。

会長： 市民テラスについては、事務局から、先日、この懇談会とは別に協議が始まったとお聞きしておりますが、その内容につきまして、報告をお願いできますでしょうか。

事務局： 資料では市民テラスになっておりますが、市民交流スペースということで御理解いただければと思います。前回の懇談会におきまして、委員からも話がありましたが、現在、市民協働推進課の方で3回ワークショップを実施しております。全5回となりますので、あと2回実施する予定です。ワークショップにつきましては、毎週水曜日の夕方6時30分から、三島公民館で行っているところです。まだ全部が終わっていないので結果は出ておりませんが、市民の方に集まっていたらいいワークショップという形で実施しています。

会長： その結果につきましては、最終的に基本計画に反映され、懇談会の委員さんにお示しするというところでよろしいでしょうか。

事務局： 基本計画としてまとめた際に、ご意見を伺えればと思っております。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 災害対策拠点ということに関しては、他自治体では、その核となる非常電源装置がこの前の鬼怒川の決壊で使用できなかったなどの話題がある。那須塩原市の新庁舎では、水害の想定があまりされないと思うが、非常電源装置が水害に影響されないように配慮していただきたい。また、水害からの普及には5日から1週間かかるとも言われるので、電源を維持しなければならないと思う。この件については、市民からも質問されると思うので質問させていただいた。

事務局： 基本構想を作るに当たって、問題点を洗い出した最にも、現庁舎の非常電源の容量が足りないという問題点が出ていたと思います。そのため、新庁舎を作る時には、考慮しなければならないと思います。また、どこへ作るのかという問題もありますが、低いところに作ると災害時に機能しないというご意見を参考にさせていただきながら、設計事務所の方とも、どこに配置するのが最善なのか、詰めていきたいと思っております。

会長： 予定地周辺は、地域防災計画におけるハザードマップ等での検討されているのでしょうか。

事務局： ハザードマップと詳細な突き合わせはしておりませんが、ハザードマップに指定された地域ではなかったと記憶しています。

会長： 今後を考えますと、想定外の雨量も降ることも考えられますので、防災計画も見直しも必要になってくると思っております。

委員： 私も防災会議に参加しているが、最初は、薄かった防災計画が、だんだん厚くなり、さまざまな形で防災計画が作られています。また、新庁舎ができた時には、それに伴う防災計画もできてくると思う。

会長： 今後につきましては、自然災害ばかりではなく、高齢化など人間社会も変わってくると思っておりますので、防災計画の見直しは必要になってくると思われまます。その他、いかがでしょうか。

委員： ある程度の建物の形が見えてこない、細かい面に関しては、あくまでも理想論の話しかできない。ある程度の形ができてくれば、ここはいいとかあれがいいとかい

ろいろな意見がでてくるのではないか。今は、空想の中でしか議論できないのが現状である。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 駐車場に関しては、既存の駐車場と提携し、できることもあると思う。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： 現在、西那須野地区に住んでいるので、年齢とともに市役所を利用する回数は減ってくると思う。そのため、こういう会議に出ていると、夢みたいなものもありますし、時代の流れによって便利になるのはいいことだと思います。

会長： 市役所に働く方を想定すると数百人が移動することになるため、新しい動きが想定されますことから、那須塩原市としての一つの核として発展させていくのが新庁舎であり、攻めの施策といえるのではないのでしょうか。その他、いかがでしょうか。

委員： 駅前の図書館は、1階は窓口サービス、2階が図書館になるのか。

事務局： 仮称駅前図書館の配置ということですが、はっきり決まったわけではないですが、1階部分に窓口サービス部門が入る想定であるようです。

委員： もう一つは、駅前図書館に今までの本庁舎に来ていた人が行くとなると駐車場がたらないのではないかと心配がある。

事務局： 図書館に入る窓口については、すべての業務を提供できることにはならないと思います。その中で、高齢者や子育て世代に重点をおいたサービスを提供する考えで、これも今後の検討になっていきますが、すべての業務をそこで提供するというのではなくて、最も周辺の住民の方に利便性の高いサービスを提供するようになると理解しています。

会長： 市の部長さん方からは、何かありますか。

委員（市）： 仮称駅前図書館の駐車場につきましては、隣接したところも含めて検討していきたく考えております。

会長： その他、いかがでしょうか。

会長： 意見がないようでしたら、「5 その他」に移りたいと思います。

5 その他（事務局からの事務連絡）

会長： 以上を持ちまして、第9回庁舎建設市民検討懇談会を終了したいと思います。

6 閉 会（午後5時00分）